

Toyota City Museum

Press Release

豊田市博物館 プレスリリース 2024.9.26



深鉢形土器（火焔型） 国宝 笹山遺跡出土（小川忠博氏撮影）
新潟県十日町市 十日町市博物館蔵

旅するジョウモンさん —5千年前の落とし物—

2024年10月12日[土]～12月8日[日]

開館時間：午前10時～午後5時30分（入場は午後5時まで）

休館日：月曜日（ただし祝日の場合は開館）

主催：豊田市博物館

会場：展示室1・展示室2

観覧料：一般 1,200円 [1,000円] ／高校生・大学生 1,000円 [800円] ／中学生以下無料

※[]内は20名以上の団体料金

※観覧料の詳細及び減免、割引等については博物館ウェブサイトをご確認ください。

開催趣旨

「縄文」は、人の心を映す鏡のような存在です。かつては、縄文土器の特異なデザイン性について、グロテスクで野蛮なものとして顔をしかめる人も多くいました。その背景には、植物採集や狩猟に生活の基盤を置いた縄文人が、多くの狩猟採集民と同様に、農耕を暮らしの中心に据える人々と比べ、その日暮らしの劣った存在として評価されていたからです。これは、日本が、稻作と米の絶対的な存在で進歩したとする古い歴史観を写し出したものです。

しかし戦後、例えば芸術家岡本太郎（1911-1996）のように、縄文土器を、仏教など外来の美術様式の影響に捉われない、日本独自の誇るべき存在と評価する人が出現しました。また1990年代のバブル崩壊後、三内丸山遺跡などの発掘成果により、縄文人は、狩猟採集民としては異例の、大規模かつ高水準の生活文化を持ち得ていたとの考えも示されました。縄文は、敗戦や景気後退でうつむく日本人の心に、希望の光をもたらしたのです。

さらに特に近年、縄文のデザインは、自由でカワイイ、親しみやすいポップな魅力にあふれた存在として、若い世代を中心に広く受け入れられています。曲線を中心とした、生物的で奇妙な土器の文様。また、愛らしい土偶の表情は、マンガやアニメ、ゲームなどにも欠かせないデザインとして、私たちを楽しませてくれています。その暮らしぶりと環境問題やSDGsなどの現代的課題とを結びつける論調からも、「縄文」は、数千年を越えて対峙する、私たちの願いを込めて語り上げられる対象となっていることがうかがえます。

しかし、縄文時代に心を寄せながら、私たちは、日本各地で地方色豊かにその文化が花開いたことを、さほど知ってはいません。

『旅するジョウモンさん—5千年前の落とし物—』は、2024年4月26日に開館した豊田市博物館の最初の展覧会となります。当館は、展覧会について、地域をきっかけに日本や世界を知る、日本や世界を知ることで地域を見直し、新しい力が生まれる機会にしたいと考えています。

さあ、ジョウモンさんと一緒に「5千年前の落とし物」を探す「旅」に出かけましょう！

※「ジョウモンさん」の設定

長野県（伊那地方）生まれの男性。今は、結婚して奥さんの実家がある水汲遺跡（愛知県豊田市）に家族と暮らしています。

実はこのジョウモンさん、結婚する前までは、北から南まで、色々な場所を旅していた経験があるのです。

展示構成 1) ジョウモンさんが生きた時

本展で取りあげる縄文時代中期（約5千5百年前～4千4百年前）は、地方の人口増加とともに、文化的な地方色も豊かになっていったことがわかっています。本章では、国宝・重要文化財を中心に、この時期を代表する土器を紹介します。

深鉢形土器（円筒上層式） 重要文化財 石神遺跡出土
青森県つがる市 つがる市教育委員会蔵



2) ジョウモンさん、北へ南へ

縄文土器は、その形や文様などの特徴が同じである一群をまとめた「〇〇式」として紹介されます（土器型式）。多様な自然環境とこれに適応した地方文化が、様々な土器形式を生じさせたと考えられています。本章では、北から南まで、日本列島をたどりながら様々な土器型式を紹介します。

台付深鉢形土器（神明式） 豊田市指定文化財 水汲遺跡出土
愛知県豊田市 豊田市蔵



3) ジョウモンさん、住むトコロをさがす

縄文時代中期の人々が、住む場所を探す際に吟味していたであろう条件として、周辺での食料や道具の材料を得られるか、があったと考えられています。本章では、彼らが食べていたものや、使っていた道具についての遺物を紹介します。

編みかご 始良市指定文化財 前田遺跡出土
鹿児島県始良市 始良市教育委員会蔵



展示構成 4) ジョウモンさんをトリコにしたもの

縄文時代中期の人々が装身具として使用していたものにヒスイがありました。新潟県・富山県の県境付近にある小滝川・青海川流域（糸魚川市周辺）で産出したものです。本章では、各地で出土したヒスイ、コハクなどを紹介します。

垂飾（ヒスイ） 戸入村平遺跡出土
岐阜県揖斐川町 岐阜県文化財保護センター蔵



5) ジョウモンさんのココロを見る

縄文時代中期の人々は、日常生活のなかで使われる土器・石器のほかにも、土偶など様々な願いが込められたモノを残しています。本章では、彼らの心性を示す様々な遺物を紹介します。

板状土偶 重要文化財 石神遺跡出土
青森県つがる市 つがる市教育委員会蔵



6) ジョウモンさんはどこへ行った

縄文時代中期の終わり頃になると、全国的に遺跡数や住居数が減少します。一方、人口減少とともに、各地方では自然環境に適応しながら一定の人が暮らし続けていたのです。本章では、縄文時代中期終わり頃の出土遺物を紹介します。

深鉢型土器（称名寺式） 豊田市指定文化財 水汲遺跡出土
愛知県豊田市 豊田市蔵



展覧会の見どころ

1) 豊田市で初めて展示する資料がいっぱい！

国宝 1 点、重要文化財 22 点を含む約 420 点の縄文時代中期の資料を展示します。国宝・火焔型土器（十日町市博物館蔵）はもちろん、重要文化財も、すべて豊田市で展示されるのは初めて！

2) 日本各地の典型的な縄文時代中期の土器を一堂に、比較しながら見られる！

今回の展覧会では、北は青森県、南は鹿児島県まで日本各地の縄文時代中期を中心とした土器などの資料を一堂に集結。それぞれの地域の環境に合わせて生活していた縄文人たちのユニークな土器や石器を比較しながら見ることができます。

3) 縄文時代を体験講座やセミナーでより深く知ることができる！

会期中は、縄文時代の料理体験、布作りや縄文ミサンガ作り、石器作りを体験することができる講座を開催します。また、最新の研究成果などを知ることができます「とよはくセミナー」を開催します。

関連イベント

縄文時代中期をテーマにした「とよはくセミナー」（①11月9日、②11月30日 - 12月1日の全2回）、ワークショップ「JOMON クッキング！」（10月20日）、「縄文ミサンガを作つてみよう！」（10月27日）、「体験！石器をつくつてみよう」（11月23日）等を予定。

※関連イベントの内容や講師など、詳細については当館 HP・インスタグラム等でお知らせいたします。

お問合せ

豊田市博物館 〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町5丁目80番地

HP: <https://hakubutsukan.city.toyota.aichi.jp>

e-mail: hakubutsukan@city.toyota.aichi.jp

・展覧会に関すること 事業企画担当：名和、高橋 Tel : 0565-32-6512

・掲載依頼・取材等に関すること 施設・総務担当：松下、中島 Tel : 0565-32-6512

「旅するジョウモンさん—5千年前の落とし物—」

広報用画像について

画像等の資料をご希望の方は、以下を記入のうえ、Faxかe-mailで当館までお送りください。

送り先：豊田市博物館

Tel: 0565-32-6512 Fax: 0565-85-0902

e-mail: hakubutsukan@city.toyota.aichi.jp

お名前

Tel

e-mail

発売、放送予定日（雑誌の場合は○月号）

必要な鑑賞券枚数（最大5組10名分）

ご所属

Fax

掲載紙・メディア名

必要な画像の番号

鑑賞券の送付先

【広報用貸出画像 作品キャプション】



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦

① 深鉢形土器（火焔型） 国宝 笹山遺跡出土（小川忠博氏撮影） 新潟県十日町市 十日町市博物館蔵

② 深鉢形土器（円筒上層式） 重要文化財 石神遺跡出土 青森県つがる市 つがる市教育委員会蔵

③ 台付深鉢形土器（神明式） 豊田市指定文化財 水汲遺跡出土 愛知県豊田市 豊田市蔵

④ 編みかご 始良市指定文化財 前田遺跡出土 鹿児島県始良市 始良市教育委員会蔵

⑤ 垂飾（ヒスイ） 戸入村平遺跡出土 岐阜県揖斐川町 岐阜県文化財保護センター蔵

⑥ 板状土偶 重要文化財 石神遺跡出土 青森県つがる市 つがる市教育委員会蔵

⑦ 深鉢型土器（称名寺式） 豊田市指定文化財 水汲遺跡出土 愛知県豊田市 豊田市蔵

画像の使用には以下の点にご注意ください。

- ・資料写真の文字のせはご遠慮いただき、キャプションを表記してください。
- ・ご紹介いただく場合は、情報確認のためお手数ですがゲラ刷り等をお送りください。
- ・情報掲載後、情報公開の報告または掲載紙（誌）を1部お送りください。
- ・本展の紹介でのご使用後は、各メディアの責任のもと画像データを削除破棄してください。